

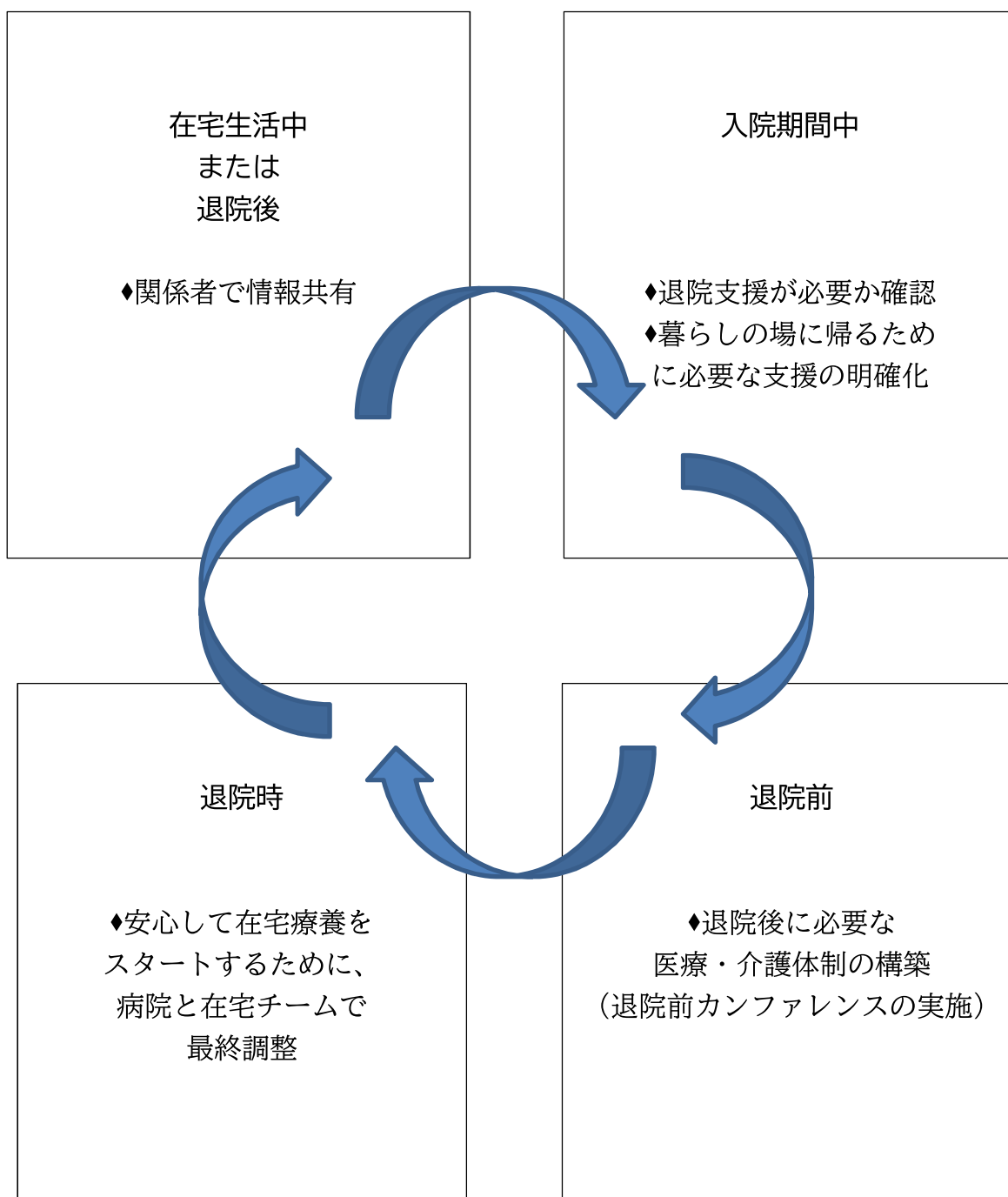
入退院支援の各場面における目標

【入退院支援の目指すべき姿】

その人らしい暮らしの場に帰れるようにする。

【場面ごとに大切にしたい視点】

場面ごとに適切に協働していく。



例

(1) ケアマネジャーがいる場合

在宅生活中または退院後

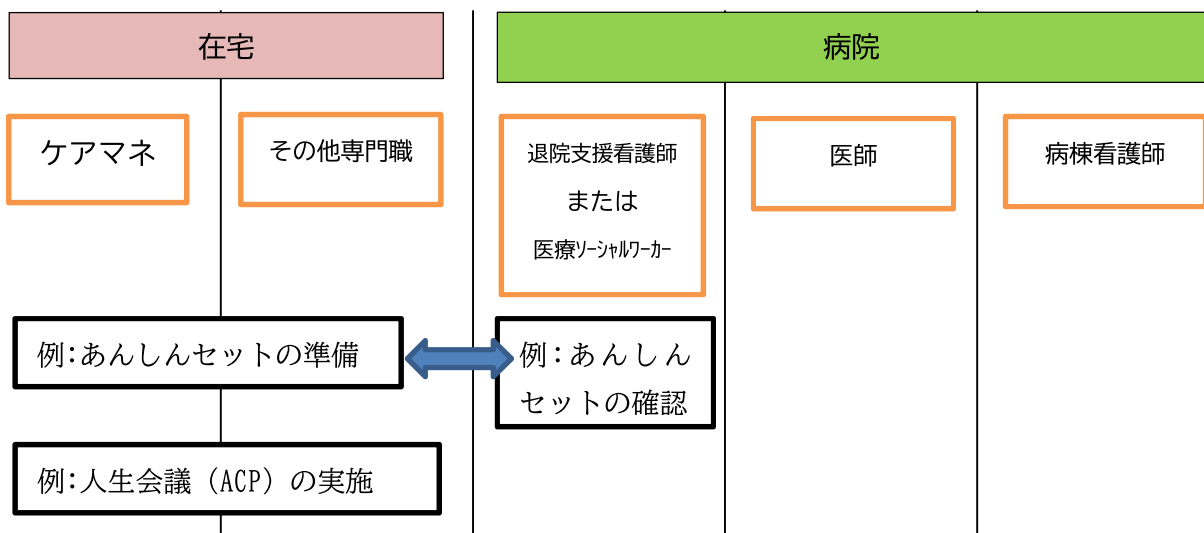
目的

○入院時に速やかに対応できるよう、日ごろからそなえる。

日ごろから備えておくこと

○地域資源を把握し、在宅チーム・病院の連携体制を整えておく。

○病気や加齢に伴う変化により暮らしづらさが出てくるため、普段から在宅療養が安定するよう、予防的に環境を整える。



- ※ ケアマネジャーがいる場合、いない場合で作成
- ※ 場面ごとに目的等を入れ、職種別で作成
- ※ 場面ごとで関係のある診療報酬・介護報酬の加算を組み入れる。